



ロータリー平和フェローシップ

ロータリー平和フェローシップ委員長

麻生 菜穂美



ロータリー 平和フェローシップ





ロータリー平和センタープログラムにはビジョンがあります。それは、紛争予防と解決に取り組む平和活動家とリーダーのネットワークを通じた、持続可能な平和の構築です



ロータリーは、8つの著名大学と提携して、平和構築者のエンパワメント、教育、スキル向上に焦点を置いたロータリー平和センターを運営しています

8つの著名大学

- デューク大学およびノースカロライナ大学チャペルヒル校（合同で一つの平和センターを運営）（米国）
- 国際基督教大学（日本）
- ブラッドフォード大学（英国）
- クイーンズランド大学（オーストラリア）
- ウプサラ大学（スウェーデン）
- チュラロンコン大学（タイ）
- マケレレ大学（ウガンダ）

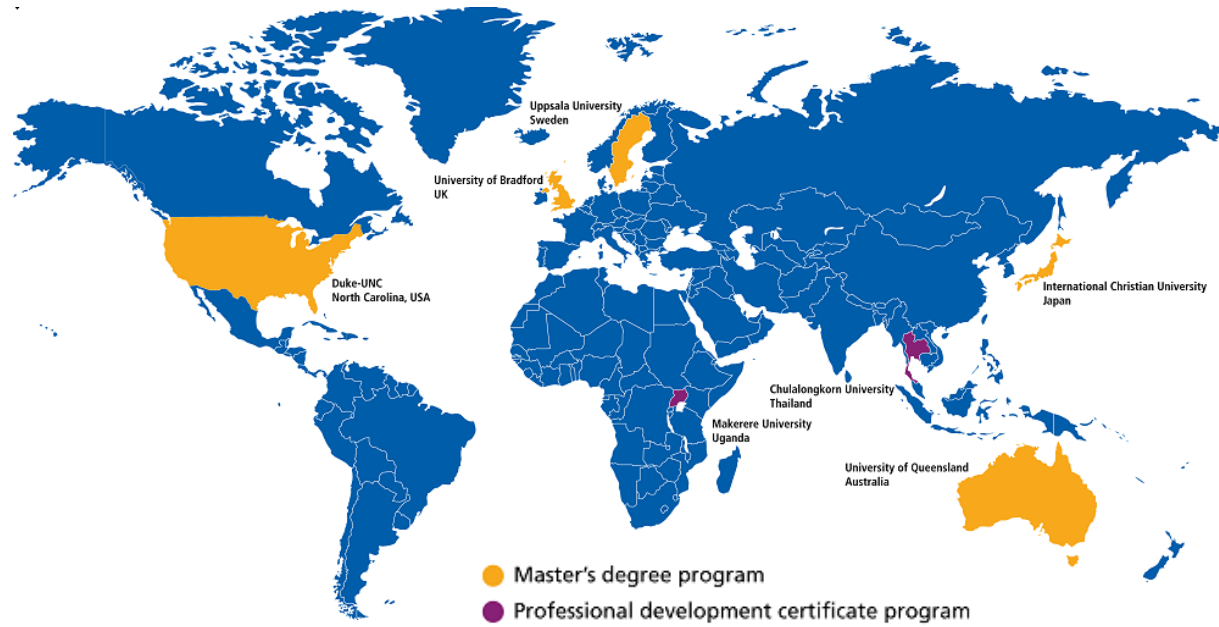


現在、ロータリー平和センターの卒業生は1,300人以上おり、115カ国以上で平和構築と開発の分野で活躍しています



平和センターのプログラム

ロータリー平和センター



毎年、最高130名の 平和フェローを選出



修士号プログラム:

- キャリア開始時期にあるリーダーが対象
- 毎年50名を選出(各センターで10名ずつ)
- 15~24カ月のプログラム

専門能力開発修了証プログラム:

- 平和と開発分野でリーダーシップスキルを発揮した経験がある人が対象
- 毎年80名を選出(各センターで20名x2期)
- 1年間のプログラム

修士号プログラム

主要要素



ACADEMIC TRAINING
Learn theories and approaches



APPLIED FIELD EXPERIENCE
Build practical skills



NETWORKING
Expand your global network



WORKSHOP SERIES
Develop professional skills



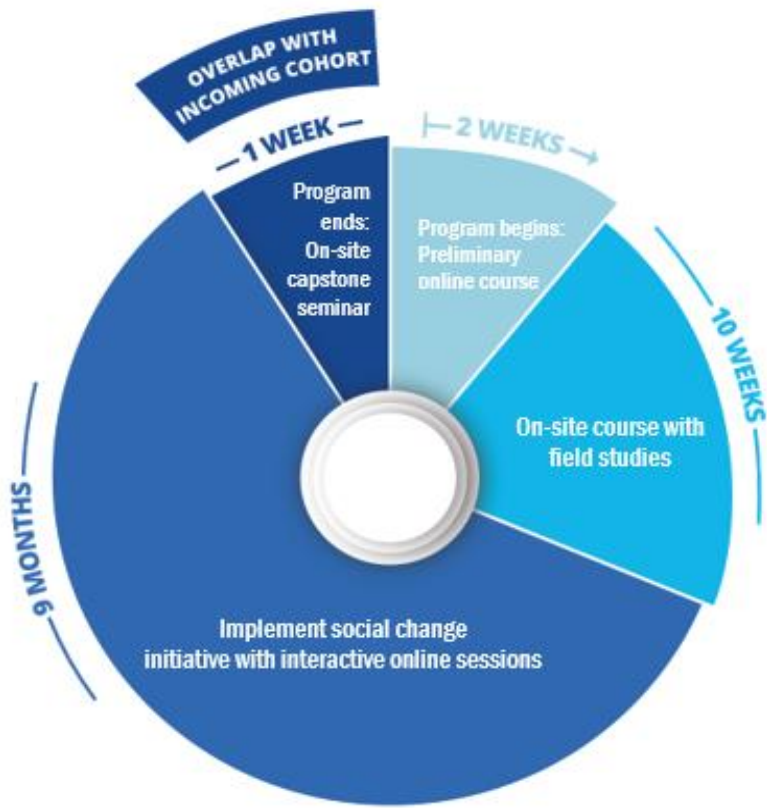
FINAL SEMINAR
Present your master's research



修士号プログラム 候補者の条件

- 英語に堪能であること
- 学士号を取得していること
- 異文化間の理解と平和への強いコミットメントがあること
- 優れたリーダーシップスキルを実証していること
- 関連分野において少なくとも3年間のフルタイムの職歴を有していること





専門能力開発修了証 プログラム

主要要素



専門能力開発修了証プログラム 候補者の条件

- 英語に堪能であること
- 学士号を取得していること
- 異文化間の理解と平和への強いコミットメントがあること
- 優れたリーダーシップスキルを実証していること
- 関連分野において少なくとも5年間のフルタイムの職歴を有していること
- 平和推進のための自分の計画がどのようにロータリーの使命と合致するかについて説明できること
- マケレレ大学平和センターの候補者は、この地域の出身者かこの地域で活動している者でなければならない。



フェローシップの資金

平均授与総額

修士号プログラム: 75,000米ドル

専門能力開発修了証プログラム: 11,000米ドル

修了証プログラムで賄われる費用

- 授業料
- 部屋代と食費
- 留学先への(留学先からの)旅費
- インターンシップの費用
- 学会／研究費用
- 保険
- 不測の事態の出費

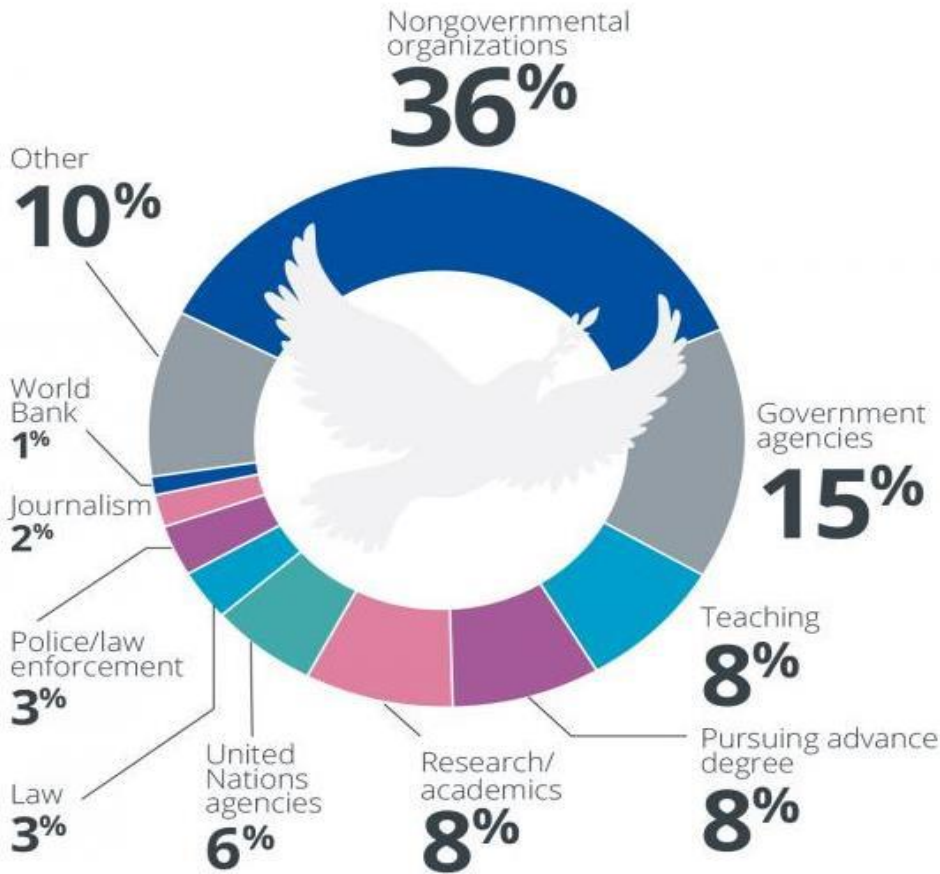
専門能力開発修了証プログラムで賄われる費用

- 授業料
- 学内の宿泊施設
- 留学先への(留学先からの)旅費
- 実地研修の経費
- コース資料
- 保険



平和センター学友

Where Rotary Peace Center alumni work



プログラムの卒業生(学友)は、政府および非政府機関、教育と研究、国連機関、法執行機関と軍、人道団体、国際機関のリーダーとして活躍しています

エルサマリー・デシルバ (インド出身)

チュラロンコン大学(2016年)

Red Dot Foundation
創設者兼最高責任者
インド

「私は、自分の活動を実証したいと感じていたときにロータリー平和フェローシップ・プログラムに参加する機会を得ました。フェローシップから学んだスキルの中には、非暴力的な方法でのコミュニケーションスキルの向上が含まれます。私は平和フェローシップのコミュニティに支えられていると感じており、このコミュニティを通じて、世界中の平和フェローとつながることができます」



チャーリー・アレン (オーストラリア出身)

チュラロンコン大学(2020年)

Institute for Economics and Peace
パートナーシップ責任者
オーストラリア

「フェローシップは私の考えを広げ、新しい道筋を作り、新しいツールをもたらしてくれました。最も重要なのは、フェローシップを通じて人材とリソースの新しいネットワークを作ることができました」



ウィラ・チガガ
(ザンビア出身)

デューク大学(2004-06)

国際労働機関(ILO)
シニア・ジェンダースペシャリスト
南アフリカ

「私の仕事は、仕事の世界で男女
平等の権利を促進することです」



アブディキア・アーメド (ソマリア出身)

クイーンズランド大学 (2011-12)

Immigration Partnership

責任者
カナダ

「私たちは平和フェローというファミリーの一員です。平和フェローは地域社会における変化の担い手だと思います。変革の推進者になるには、社会にインパクトをもたらす、意思決定の場に積極的にかかわる必要があります」



平和センターフェローの研究修了発表

2019/6/15 国際基督教大学



平和の願いはきっとかなう！



お問い合わせ
rotarypeacecenters@rotary.org

年次大会にZoom参加しました

- 2022年6月25日 第20回ロータリーフェローシップ年次セミナー
 - 国際基督教大学(ICU)にてハイブリッド開催 同時通訳あり
- 4名のフェローが卒業論文の発表
 - ブラジル人の日本移民の教育について(ファーラ)
 - エコロジーの対立、グリーンクライムとヴィクティム(ダニエラ=リモート)
 - 先住民との調和、ジェノサイド(ナタリア)
 - 世界の避難民、なぜ起こるのか(ファーラ)
- OBOGの意見発表
- 会場とZoom参加者との活発なディスカッション
- 終了証授与

申請方法

- rotary.org/ja/peace-fellowshipsで申請資格を確認
(申請は2月に受付開始)
- 各ロータリー平和センターのカリキュラム・プログラムを確認
(修士号プログラムは第1・2希望の平和センター、修了証プログラムは1つの平和センターを選ぶ)
- [地元クラブまたは地区と連絡を取り](#)、申請手続(面接、推薦を含む)を確認
- 地元のクラブを[クラブ所在地検索](#)で探し、ロータリーの活動に参加
- オンライン申請書に必要事項を入力し、5月31日までに地区に提出
(ロータリー財団による選考の結果は11月に通知)
- 選出された平和フェローは、別途、提携大学に入学申請を提出



2520地区で初めてのフェローシップ候補

- イフェデ・チャラさん(アフリカ・ベニン出身、石巻中学校英語教師)
- 5月15日 アプリケーション(申し込み締め切り)
- 5月 委員長(推薦者)がオンラインでトレーニング受講
- 5月 オンラインテストを受け、パスする
- 6月 候補者のアプリケーション確認
- 6月15日 候補者と面談
- 7月1日 推薦理由についてセンターからの6つの質問に返答(英語)
- 7月～10月 選定
- 11月 フェローシップ決定
- *今回は専門領域での勤続年数足らず不合格

お問い合わせ
rotarypeacecenters@rotary.org



平和な世界を築いていくには、もっと多くの平和構築者が必要です。

ロータリーの平和プログラム、「ロータリー平和センター」では、選り抜かれた関連分野の専門家たちが、平和構築の知識とスキルを磨くために、熱心に研究に励んでいます。これらの優秀な平和フェローの候補者を探す上で重要な役割を担うのがロータリアンです。明日の平和構築者を育てるために、平和フェローの推薦にどうかご協力ください。